

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

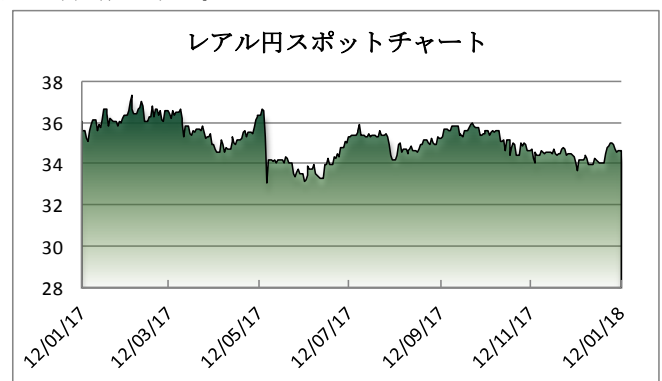
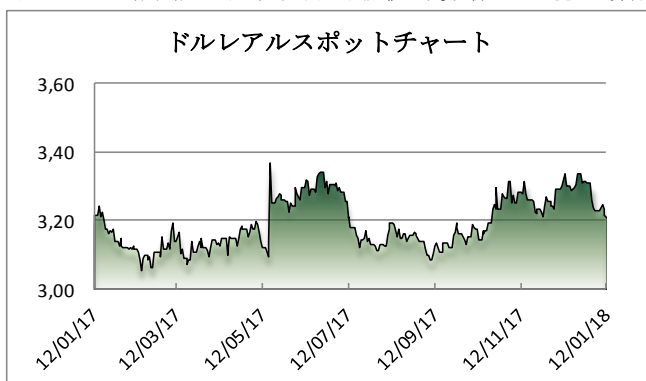
先週末のドルレアルスポット相場は、前日に米格付会社S&Pによる格下げが公表されたものの、マーケットへの影響は(年金改革法案が2月に延期になった時点で格下げは織り込み済みであったため)極めて限定的に留まった。むしろ、格下げ公表により不透明感が払拭されたことに加え、グローバルなドル安地合いであったことから引けにかけてはレアル買いが優勢となり、3.20台半ばで取引を終えた。Meirelles財務相は週末、Globo紙とのインタビューにおいて、「経済成長は続いている」と強調。さらに、①幾つもの経済指標は、格下げに関わらず、経済に成長の兆しがあることを示している、②年金改革法案は将来の政府財政への信認を維持するためにも必要不可欠である、との見解を示した。また、Estado紙はTemer大統領が14日、ブラジルに同財務相を含む閣僚を招集し、年金法案や格下げについて議論したと報道(自身の健康問題に対する疑念を払拭するため、会議前に1.5キロを歩き、その姿を報道陣に公開)。格下げにも関わらず、「マーケットには一切のネガティブな反応はなかった」と結論付けている。

PT(労働者党)のAlexandre Padilha氏はブルームバーグ社に対し、「Lula元大統領は今年25日に、24日の控訴審判決に関わらず、同党の大統領選正式候補者としての活動を開始する」と発言。これは、政治的迫害に直面している同元大統領の「大胆な抵抗である」としている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	1月11日	1月12日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,2146	3,2055	-0,28%	-3,43%	3,2016	3,2917
	対円	JPY	34,61	34,64	0,09%	0,87%	35,13	33,85
	対ユーロ	BRL	3,8699	3,9052	0,91%	0,23%	3,8531	3,9993
円	対ドル	JPY	111,26	111,06	-0,18%	-2,19%	110,52	113,39
	対ユーロ	JPY	133,87	135,50	1,22%	1,64%	133,06	136,64
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	79.365	79.349	-0,02%	7,50%	79.440	76.403
CDS Brazil 5yrs		bps	146,40	145,63	-0,53%	-12,32%	161,93	144,39
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	9,91	9,84	-0,71%	-4,75%	10,07	9,84
DI Future Jan19 (金利先物)		%	6,89	6,93	0,51%	-0,79%	6,94	6,76
3 Months US Dollar Libor		%	1,7202	1,7215	0,08%	9,40%	1,7215	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	195,16	196,06	0,46%	6,89%	196,06	192,46

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。